



おとなのデンタルヘルス推進事業 取組事例集

(専門学校支援モデル事業)

令和8年3月

新潟県

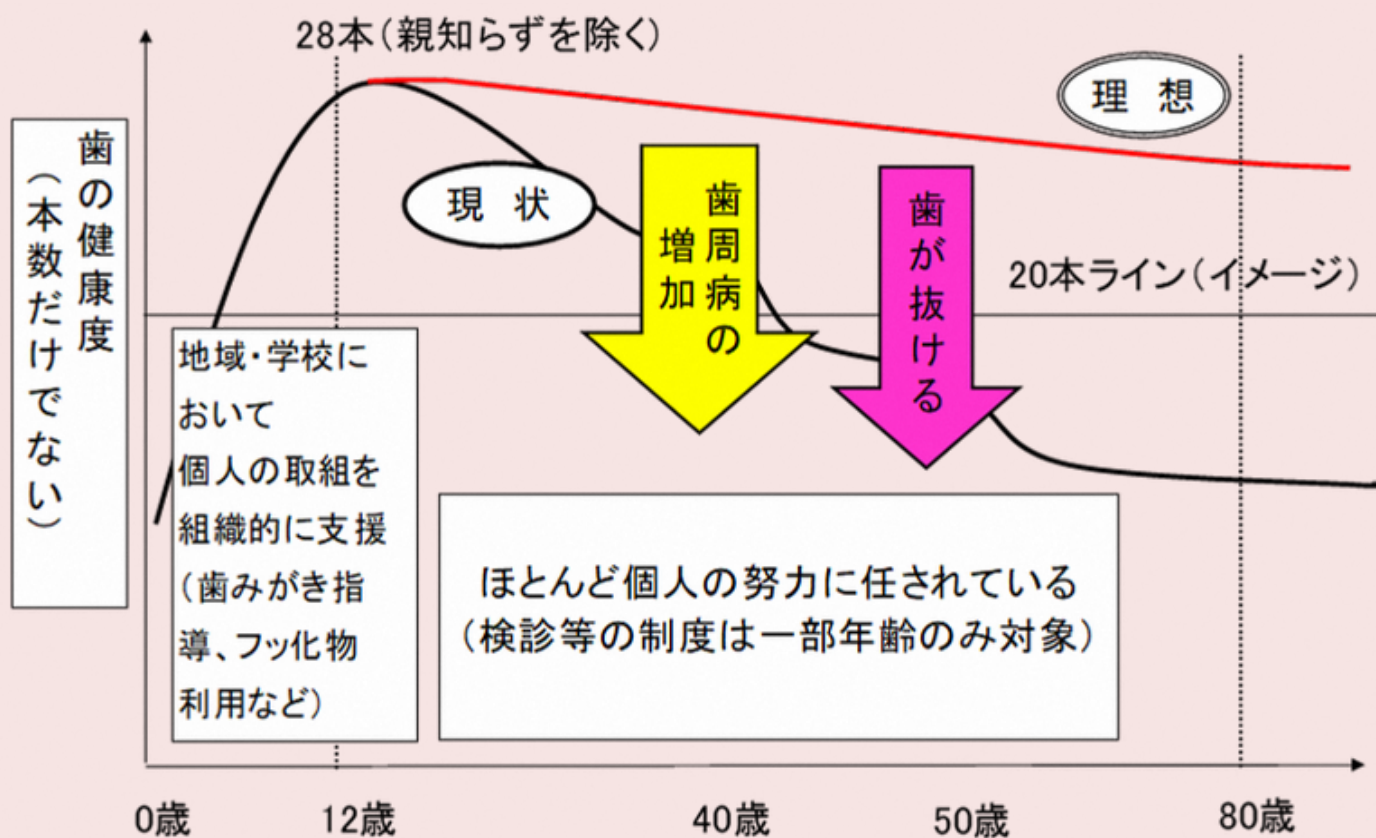
(公財) 新潟県歯科保健協会

1 本事業の経緯と目的

新潟県では昭和56年から、子どものむし歯予防に重点を置き、学校や教育委員会、新潟県歯科医師会、地域の歯科医院など関係する機関と連携を図りながら様々な対策を積極的に推進しています。

その結果、現在では12歳児（中学1年生）の1人平均むし歯数が0.1本、生徒のほとんどが永久歯のむし歯（治療済みも含む）が1本もありません。これは、全国で最も低い数値です。

しかし、高校生（学生期）までは、学校で歯科健診を受けているものの、大学生や社会人になるとお口の健康については個人の努力に任されているのが現状です。



そこで、成人（社会人）期のはじまりである専門学校を対象にモデル校を選定し、その学生に対して歯科保健指導を行い、効果的なアプローチ方法を検討することを目的に本事業を実施しました。

★目指す姿

- ・ 歯科の定期健診を受診する学生の増加
- ・ 歯間部清掃用具を使用する学生の増加
- ・ 昼食後に歯みがきを行う学生の増加

2 モデル校での取組み内容

	1年目	2年目	3年目
概要	取組スタートの支援	学校主体の取組	学校主体の取組の継続
取組メニュー	<p>【必須項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学生へのアンケート 学生を対象に、支援の前後に歯科保健に関する簡単なアンケートに回答。 ●歯科保健指導 歯科専門職が、学校の専門や特性を踏まえた歯科保健指導を行います。口腔ケアグッズの現物支給あり。 	<p>【必須項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学生へのアンケート <p>・1年目の取組の一部や新たな取組を学校が主体的に実施できるよう相談・支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年目・2年目の取組メニューを踏まえ、学校主体の取組を継続します。 <p>（困りごと・相談があれば歯科保健協会が支援）</p>
参加費	無料	無料 (場合により一部負担)	学校負担

モデル校No.1 国際ペットワールド専門学校

【基本情報】

●参加学生

1年目…9学科 265名

2年目…12学科 250名



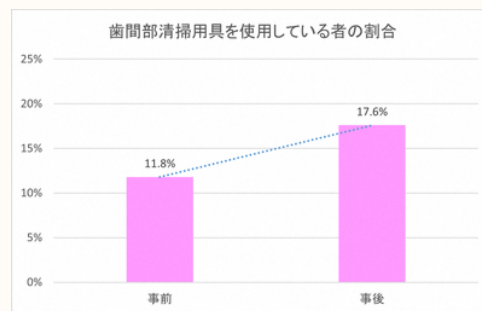
動物の話と絡めて！

【取組みの様子】

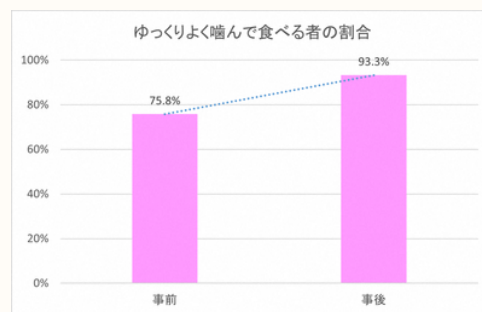
学校から提供してもらった動物の口腔内写真や歯石除去の写真を講義に取り入れ、動物と人間の口腔解剖や口腔ケアを絡めた内容の話を行った。歯間部清掃用具の使用等、お口の健康習慣に取り組んでいる学生は男子学生がほとんどで、担任の先生が驚いていた。口腔ケアグッズを喜ぶ様子もみられた。

【学生にみられた変化】

歯間部清掃用具を使用する学生が増えました！



ゆっくりよくかんで食べる学生が増えました！



【3年目に学校が実施したこと】

学校で予算を組み、最終学年へリクルート向けに当協会へ歯科保健指導を申し込み実施。

【学校担当者の感想】

社会に出る際の身だしなみのポイントのひとつとして外部の専門家から指導を受けることは学生の良い刺激になると思う。日頃から気を付けている学生も多くいるが、気を付けていない学生には良い気付きになった。

既存の授業に組み込んで

モデル校No.2 長岡崇徳福祉専門学校

【基本情報】

●参加学生

1年目…介護福祉学科1・2年生 32名

2年目…介護福祉学科1・2年生 29名



留学生が在籍！

【取組みの様子】

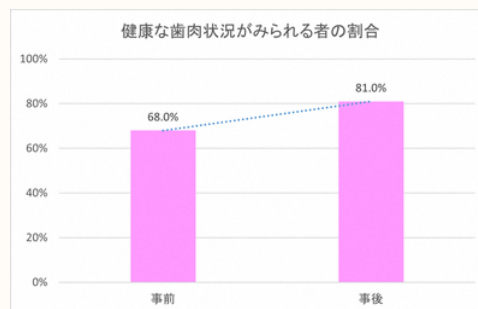
学校の専門性を絡めて、要介護者への口腔ケアについての講話およびデモンストラーションを行い、小グループに分かれ模型を用いた義歯の取扱い方法についての実習を行った。

留学生のクラスには使用したスライドにルビを振り、講義を実施。

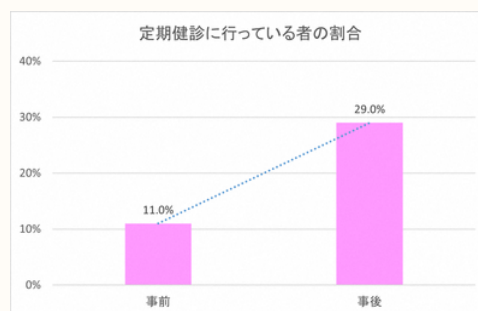
熱心に話を聞き、実習にも積極的に取り組む姿がみられた。

【学生にみられた変化】

健康な歯肉の学生が増えました！



定期健診に行っている学生が増えました！



【3年目に学校が実施したこと】

情報処理の授業で歯みがき啓発のポスターを作成

【学校担当者の感想】

授業の内容に合わせて歯科保健指導の内容や進め方を相談できるので学生が関心を持って受講でき、その後の授業や実習に役立てることができた。歯科健診や受診に最も関心が薄い年代と思われるので、自分自身のお口の健康を考えるきっかけになった。

歯科の実習の一環で

モデル校No.3 三条看護・医療・歯科衛生専門学校

【基本情報】

●参加学生

1年目…看護学科、医療事務学科各1・2年生
歯科衛生士学科2年生 計155名

2年目…看護学科、医療事務学科、
歯科衛生士学科各1年生 計155名



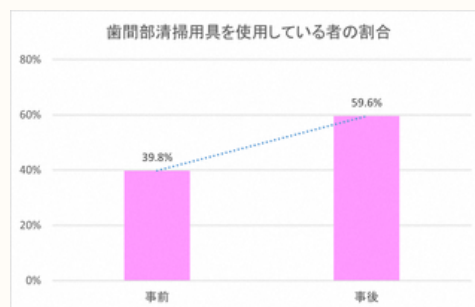
医療系で歯科の知識が高い！

【取組みの様子】

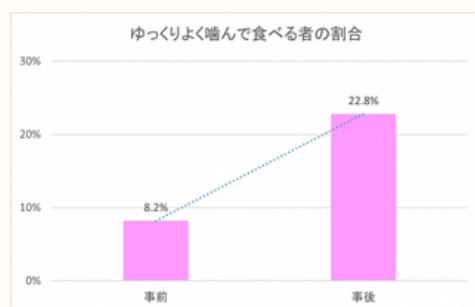
集団歯科保健指導の実習を控える歯科衛生士学科のクラスが当協会歯科衛生士の指導の見学を行った。その後、他学科の学生を対象に歯科保健指導を実施した。2年生からの保健指導を受けた1年生の歯科衛生士学科の学生は、次年度自身が指導を行う立場となるため熱心に受講していた。

【学生にみられた変化】

歯間部清掃用具を使用する
学生が増えました！



ゆっくりよくかんで食べる
学生が増えました！



【3年目に学校が実施したこと】

医療事務学科、歯科衛生士学科各1年生を対象に歯科衛生士学科2年生が集団指導を行った。

【学校担当者の感想】

学生時代に歯科保健指導を受けることで口腔への関心を高めることができ、口腔衛生習慣への定着につなげることができた。

各学科の先生の高い共有意識

モデル校No.4 新潟医療福祉カレッジ

【基本情報】

●参加学生

1年目…介護福祉科1・2年生、
介護福祉基礎科1年生、
医療秘書科2年生 計158名

2年目…介護福祉科、
国際介護科(旧介護福祉基礎科)、
医療総合科(旧医療秘書科)各1年生 計114名



留学生のみの学科あり！

【取組みの様子】

介護福祉科および国際介護科は学科の専門性を絡め、要介護者への口腔ケアについての講話およびデモンストレーションを行い、小グループに分かれ模型を用いた義歯の取扱い方法についての実習を行った。

留学生のクラスには使用したスライドにルビを振り、講義を実施。

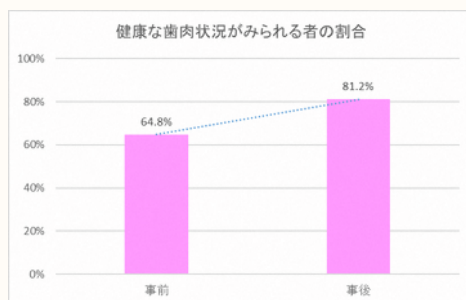
2年目には、当協会が作成したスライドを使用し、各学科の先生が歯科保健教育を実施した。

医療総合科の学生は1・2年目ともに歯みがき啓発のポスターを作成。

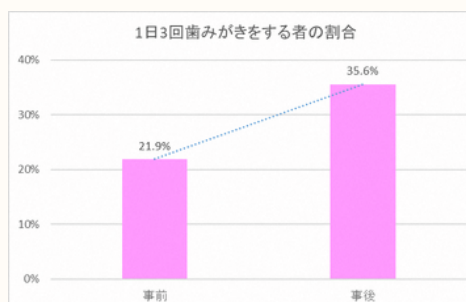
口腔ケアグッズの設置が好評で、多くの学生がデンタルフロスや洗口液を使用する姿がみられた。

【学生にみられた変化】

健康な歯肉の学生が増えました！



1日3回歯みがきをする学生が増えました！



【学校担当者の感想】

今まで高校生や学生に対するアプローチがなかったため、良い事業であった。今後も授業の中に組み込んで実施していきたい。

モデル校No.5 シェフパティシエ専門学校

【基本情報】

●参加学生

1年目…製菓製パン技術科1・2年生、調理製菓技術科2年生、
調理総合技術科、調理本科各1年生 計113名

2年目…製菓製パン技術科、調理総合技術科各1・2年生、
調理本科1年生 計137名



担当教員の高い意識！

【取組みの様子】

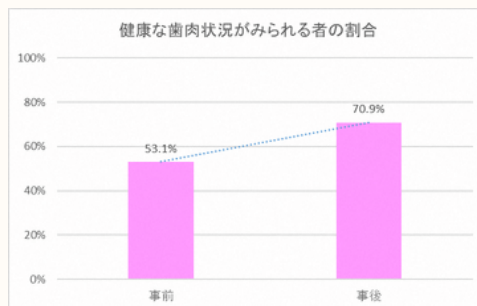
学校の専門性を絡め、間食による口腔内への影響や甘味の適正摂取等を取り入れ講義を実施。

2年目には、当協会が作成したスライドを使用し、公衆衛生学を担当している先生が歯科保健教育を実施した。

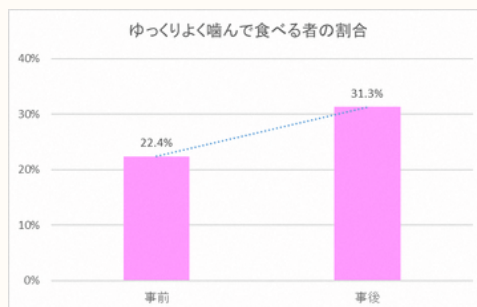
口腔ケアグッズの設置では、特に舌ブラシやマウスウォッシュが人気で学生から在庫追加の催促があった。

【学生にみられた変化】

健康な歯肉の学生が増えました！



ゆっくりよくかんで食べる学生が増えました！



【学校担当者の感想】

成人期以降の歯科保健の継続性を高める良い取組みだと思う。専門学校ではポスター掲示やアンケート等の小さな取組みの継続が重要だと思った。

アウトプットを重要視

モデル校No.6 アップルスポーツカレッジ

【基本情報】

●参加学生

1年目…トレーナー系学科、スポーツ保育士学科各1・2年生、
バスケットボール系学科1～3年生 計104名

2年目…トレーナー系学科3年生(6名)、
スポーツ保育士学科1・2年生(20名)
バスケットボール系学科(5名) (計31名)



運動習慣ある学生が多い！

【取組みの様子】

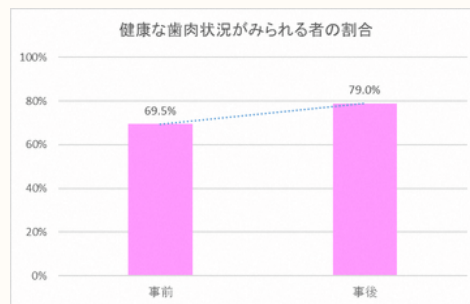
学校の専門性を絡め、スポーツ用マウスガードの効果や外傷への対応方法について取り入れ講義を実施。

2年目はアウトプットに重点を置き、トレーナー系学科は高齢者施設利用者に向け、オンラインでお口の体操を実施。

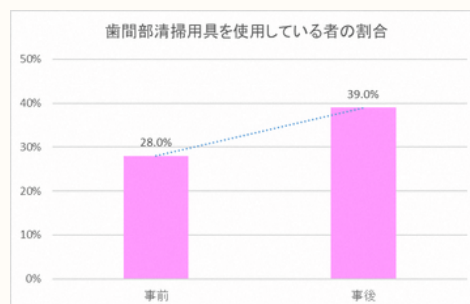
スポーツ保育士学科は、当協会歯科衛生士より子ども向けの講義を実施のうえ、園児向けの歯科媒体や動画の作成をし、園での指導を行った。バスケットボール系学科は、学生を選定しマウスガードの作成、使用感を他の学生へ共有した。これらの取り組みは下級生に繋げていく予定。

【学生にみられた変化】

健康な歯肉の学生が
増えました！



歯間部清掃用具を使用する
学生が増えました！



【学校担当者の感想】

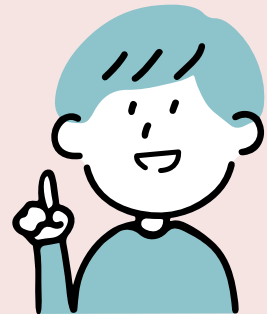
トレーナー業界でも歯科との関連が話題になるため、良い機会となった。保育の道へ進む学生には必須としたいほど、充実した事業だった。

3 学生の現状とニーズ

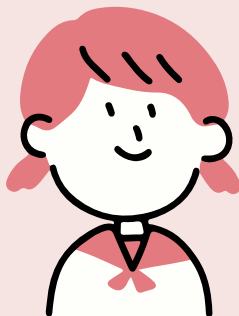
望ましい歯科保健行動（昼食後の歯みがき、デンタルフロスの使用、定期健診の受診）について、同世代に広めていくための工夫をアンケートで聞き取りました。（自由記載を一部抜粋）

- ・学校や地域で歯の健康の大切さやフロスの使い方を学ぶ機会を増やす
- ・歯間部の清掃をしないとどうなるか理解できていない人が多いと思うから広めるべき

メリットや
デメリットの周知



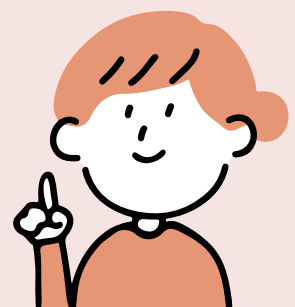
環境の整備



- ・トイレ以外に水飲み場の設置を行い、歯ブラシや歯みがき粉、紙コップなどを置く
- ・学校の洗面台の数や歯みがきスペースの清潔さが必要

- ・食後にクラス全体で歯みがきする時間を設けると習慣化が期待できると思う
- ・歯科の定期健診の予約を電話ではなく、LINEなどでできると気軽に受診できる

歯みがき時間や
予約しやすさがほしい



4 まとめ

本事業では、モデル校で歯科保健に関する取組みを行い、その後の学生の保健行動や習慣の変化から効果的かつ学校独自でも継続可能なアプローチ方法を検討しました。

専門学校の実情に合わせ、また、特色を生かした実施方法で、学校独自での実施に繋がる支援となったと思います。

関係各位には、より多くの学生が、社会に羽ばたいてからも自身の健康を保ちながら活躍できるよう、この「おとなのデンタルヘルス推進事業取組事例集」を上手くご活用いただけますと幸いです。

～歯科保健活動用媒体紹介～

校内で歯科保健活動に使用できる広報物について、下記ホームページ上で掲載しています。（フリーダウンロード）ご活用ください。

■健康にいがた21（新潟県ホームページ）

<https://www.kenko-niigata.com/kouhou/index.html>



■新潟県ホームページ

<https://www.pref.niigata/lg.jp/sec/kenko/1356770477396.html>



■新潟県歯科保健協会ホームページ

<https://www.niigata-dhs.com/blank-5>

